

広報

2006年/平成18年4月

創刊号

—No.1—

くろしお



◆主な内容

新町「黒潮町」誕生 ————— 2～3
佐賀町・大方町閉町記念式典 ————— 4
障害基礎年金 ————— 5
みんなでささえる国保・老保会計 ————— 6
介護保険ガイド ————— 7
教育委員会便り ————— 8～9

各地の情報 ————— 10～11
黒潮一番地ニュース ————— 12
第18回 Tシャツアート展 ————— 13
健康カレンダー ————— 14～15
粗大ごみの収集について ————— 16～17
水道給水工事指定店 当番一覧表 ————— 18

新町「黒潮町」誕生

平成十八年三月二十日、大方町と佐賀町が合併し、新しく「黒潮町」としてスタートしました。

新町の開庁式典が、本庁を置く大方庁舎と、佐賀庁舎で行われました。

開庁式は、旧町長および助役、議員、その他行政関係者等約百人が出席し、町長職務執行者である池本明生旧佐賀町長の挨拶の後、テープカットと新町銘板の除幕、くす玉割りをして新町の門出を祝いました。



佐賀総合支所での開庁式

黒潮町長職務執行者あいさつ



黒潮町長職務執行者
池本明生

「皆さま、おはようございます。いよいよ、本日から黒潮町がスタートいたします。」

新たな出発となる記念すべき日を迎え、身も心も引き締まる思いです。

この記念すべき式典に、ご参集いただきました皆様方に心から厚く御礼を申し上げます。

黒潮町の将来像は、地域にある自然・産業・文化などの魅力を活かしながら、住民と行政が協働して、個性があり、元気で、温かみのある新たなまちづくりを目標に掲げ、人が元気、自然が元気、地域が元気な町に発展することです。

国政をはじめ地方行政は大きく揺れ動いており、特に地方の財政は国の財政改革のうねりの中で、財源確保が非常に厳しい環境にあります。

この厳しい難局の中で、我々は市町村合併の選択をしました。町が掲げた「黒潮町建設計画」を具現化するためには、全町民が一体となり、黒潮町の財務体質を再点検し、財政の健全化に向けた改革が必要であります。

そのためには、長のリーダーシップのもとに職員の意識の高揚と住民ならびに議会が一体となり、自治運営を確立しなければならぬと考えております。

新たな旅立ちの日にあたり、住民の融和と英知を集結し、更なる発展を願い、行政の効率的な財政運営を図り、黒潮町の行政基盤を強化し、この町がますます発展することを御祈念申し上げます。」

平成十八年三月二十日

黒潮町長職務執行者

池本 明生

黒潮町建設計画

人が元気
自然が元気
地域が元気
黒潮町

黒潮町建設計画は、大方町、佐賀町の合併による新町のまちづくりを総合的かつ効果的に推

進することを目的とし、この計画を実現することにより、二町の速やかな一体化を促進し、住民福祉の向上と地域全体の均衡ある発展を図るものです。

新町の将来像

本地域が、未来に向け、ゆとりや豊かさを実感できる住民生活を実現するためには、地域にある自然・産業・文化などの地域の魅力を活かしながら、地域住民と行政とが協働して、個性ある、元気で、温かみのある新たなまちづくりを進める必要があります。



黒潮町建設計画
(平成17年3月発行)

新町建設の基本方針

新町の将来像である「人が元気、自然が元気、地域が元気、黒潮町」の実現に向けて、次の基本方針のもとに、まちづくりを進めます。

●人が元気なまちづくり

新町では、高齢者や子育て支援など地域福祉の充実を図ると

ともに、地域資源を活用した新地域産業の育成・構築、文化活動や行政改革を推進し、あらゆる面で人が元気にいきいきと、支え合い暮らせる、活力のある住民主体のまちづくりを推進します。

●自然が元気なまちづくり

本地域は、海や山や川などの豊かな自然と景観に加え、自然からもたらされる恵みあふれる地域です。新町では、豊かな地域資源を活用した観光開発や地域交流の推進、新地域産業を興し、住民の心のゆとりと豊かな生活環境づくりを図るため、元気な生活環境を育み、活気あるまちづくりを推進します。

●地域が元気なまちづくり

これからのまちづくりの主役は住民であり、愛着と誇りを感じる個性豊かな地域社会を形成していくことが重要です。このため、住民が主役となる開かれた行政運営を推進し、新町の自主自立に向けた財政基盤の確立を図るため、情報公開の拡充や広聴広報活動の促進、住民参加によるまちづくりの推進など、住民との協働によるまちづくりを推進します。

わがまちデータ

(平成18年3月20日現在)

住民基本台帳人口と世帯数

人口 14,157人 (男性6,675人 女性7,482人)
 15歳未満の年少人口 1,530人 (比率10.8%)
 (男性778人 女性752人)
 65歳以上の高齢人口 4,478人 (比率31.6%)
 (男性1,791人 女性2,387人)
 世帯数 5,753世帯

黒潮町行政区別人口集計表 (大方地域)

行政区名	男性	女性	合計	世帯数
灘 (なだ)	28	38	66	27
伊田浦 (いだうら)	144	183	327	157
伊田郷 (いだごう)	62	61	123	55
有井川 (ありいがわ)	124	161	285	115
上川口浦 (かみかわぐちうら)	148	163	311	123
上川口郷 (かみかわぐちごう)	83	96	179	78
王迎 (おおむかえ)	76	63	139	50
王無 (おおなし)	32	44	76	29
蜷川 (みながわ)	184	204	388	156
浮津 (うきつ)	102	99	201	89
鞭 (むち)	420	466	886	362
口湊川 (くちみなとがわ)	47	42	89	32
奥湊川 (おくみなとがわ)	61	77	138	62
小川 (おがわ)	57	61	118	50
田村 (たむら)	82	95	177	64
加持本村 (かちほんむら)	59	73	132	54
本谷 (ほんたに)	14	12	26	15
大屋式 (おおやしき)	40	49	89	33
大井川 (おおいがわ)	24	20	44	15
早咲 (はやさき)	298	356	654	283
浜の宮 (はまのみや)	160	165	325	130
町 (まち)	46	61	107	49
万行 (まんぎょう)	355	376	731	302
入野本村 (いりのほんむら)	219	258	477	191
錦野 (にしきの)	306	363	669	263
芝 (しば)	155	178	333	138
馬荷 (うまに)	124	142	266	101
大方橋川 (おおがたはながわ)	14	12	26	15
御坊畑 (おんぼうはた)	56	76	132	49
上田の口 (かみたのくち)	122	132	254	107
緑野 (みどりの)	123	146	269	93
下田の口 (しもたのくち)	222	265	487	182
田野浦 (たのうら)	398	429	827	322
出口 (いでぐち)	209	227	436	177
誠心園 (せいしんえん)	51	34	85	83
生華園 (せいかえん)	29	16	45	45
シーサイドホーム	12	38	50	50

黒潮町の面積188.39km²



佐賀総合支所



本庁/大方総合支所

黒潮町行政区別人口集計表 (佐賀地域)

行政区名	男性	女性	合計	世帯数
鈴 (すず)	65	61	126	55
市野瀬 (いちのせ)	32	31	63	26
佐賀橋川 (さがたかはながわ)	50	61	111	42
拳ノ川 (こぶしのかわ)	95	99	194	63
拳ノ川団地 (こぶしのかわだんち)	16	19	35	10
荷稲 (かいな)	38	48	86	33
川奥 (かわおく)	57	86	143	46
小黒ノ川 (こくろのかわ)	23	19	42	17
中ノ川 (なかのかわ)	30	31	61	17
不破原 (ふばはら)	26	50	76	32
市野々川団地 (いちののかわだんち)	15	19	34	12
市野々川 (いちののかわ)	53	65	118	35
伊與喜 (いよき)	84	80	164	62
熊井 (くまい)	46	37	83	29
藤縄 (ふしなわ)	50	60	110	38
熊野浦 (くまのうら)	26	30	56	18
上分 (かみぶん)	110	122	232	87
坂折 (さざり)	105	108	213	77
馬地 (うまじ)	56	58	114	44
下分 (しもぶん)	81	71	152	62
町分 (まちぶん)	108	117	225	90
大和田 (おおわた)	83	99	182	63
浜町 (はままち)	230	238	468	175
明神 (みょうじん)	142	164	306	123
会所 (かいしょ)	126	139	265	97
横浜 (よこはま)	186	197	383	163
白濱 (しらはま)	48	47	95	38
かしま荘 (かしまそう)	8	45	53	53

佐賀町閉町記念式典

三月十一日、佐賀町総合センターにおいて佐賀町閉町記念式典を行いました。

町内外から約百八十名の行政・議会関係者らが出席した式典では、町長の式辞、議長あいさつの後、町政功労者表彰式、続いて閉町に際して佐賀中学校の生徒に募集をした「私のふるさと佐賀町」と題した作文の優秀作品の発表と表彰式が行われました。

優秀作品に選ばれた二年生岡平真潮さん、三年生吉田梨奈さんによる佐賀町への熱い想いと黒潮町への期待が込められた作文が発表されました。

式典の最後に町旗が降納され、佐賀町の長い歴史に幕を閉じました。



閉町式典終了後、役場庁舎前にて、閉町記念碑の除幕式が行われました。



閉町式典で設けられた「黒潮一番地の部屋」では、昔の写真パネル(協力・大塚伊勢男氏)や町広報紙などが展示され、佐賀町の名残を惜しむ参加者の姿が見られました。

大方町閉町記念式典

大方町では、三月十二日の午前中、閉町記念式典を行いました。大方中学校体育館で行われた記念式典には、町内外から約百九十人が出席しました。

式典では、町長の式辞、町議会議長のあいさつの後、町政功労者が表彰されました。最後に町長と議長による町旗降納で式典を終了しました。式典終了後はアトラクションとして大方町民謡クラブによる踊りと大方中学校吹奏楽部による演奏が行われました。



町旗降納の様子

佐賀町閉町記念誌
舩乗り一番黒潮一番



記念冊子を発刊し各戸配布しました

大方町閉町記念誌
自然からの贈り物



また、午後からは役場庁舎前に建立された閉町記念碑の除幕式が行われました。

戸籍事務がコンピュータ化されました



コンピュータ化後、初の戸籍の交付の様子（大方庁舎）

黒潮町への合併を期に、戸籍事務のサービス向上と効率化・近代化を実現するために、三月十一日からコンピュータ処理をしています。

戸籍の様式も変更し、以前の縦書きの文章形式から横書きの項目ごとの記載となり、証明される内容は変わりませんがより見やすく分かりやすくなっています。

なお、戸籍数は大方地域が約七千戸籍、佐賀地域が約二千九百戸籍となっています。



障害基礎年金の受給権をお持ちの皆さんへ

平成十八年四月から、六十五歳以上の方については障害基礎年金と老齢厚生年金などを併せて受けることができるようになりました。

※新たに障害基礎年金との併給が可能となった年金
 (老齢厚生年金・遺族厚生年金・退職共済年金・遺族共済年金)

これまで、障害基礎年金は老齢や死亡を支給事由とする年金との併給ができなかったため、障害基礎年金の受給権者にとっては、就労して自ら保険料を納付したことが年金給付に反映されにくい仕組みとなっていました。

そこで、障害を持ちながら働いたことが評価される仕組みとするため、障害基礎年金と老齢厚生年金などの併給ができることとなりました。

障害基礎年金と老齢厚生年金などを併せて受けるためには手続きが必要です。

詳しくは、高知社会保険事務局幡多事務所までご相談ください。

例：障害基礎年金と老齢基礎・厚生年金の受給権がある場合

① 障害基礎年金

- ← 1級障害：満額老齢基礎年金の125%
- ← 2級障害：満額老齢基礎年金額

これまでは①か②どちらかを選択。この場合、①の方が高額になり本人の加入歴を活かせないケースが多い。そこで…

② 老齢厚生年金

← 短い就労期間や低賃金の場合低額になる

③ 老齢基礎年金

← 障害基礎年金受給中の保険料免除期間分が低額になる

本人の加入歴を給付に活かせる新しい選択肢

③ 老齢厚生年金

障害基礎年金

《平成18年度保険料額》

	定額保険料	前納金額
1年分	166,320円 (13,860円×12ヶ月)	163,370円 (2,950円おトク!)
6ヶ月分	83,160円 (13,860円×6ヶ月)	82,480円 (680円おトク!)

※希望する月から平成19年3月分までの保険料を前納することもできます。

便利でおトクな「前納制度」をご利用ください

一定期間分の国民年金保険料をまとめて納付する「前納制度」をご利用いただくと、保険料が割引となりお得です。

四月分からの前納を希望される方は、四月に社会保険庁から送付される「国民年金保険料納付案内書」に添付された前納用納付書で、五月一日(月)までに金融機関・コンビニエンスストアなどで納付してください。

月々の納付も口座振替の「早割」なり月額五十円おトクです。詳しくは、左記までお問い合わせください。

○お問い合わせ

高知社会保険事務局幡多事務所

☎ 34-1616

ねんきん相談

— 毎月第二木曜日 —
午前10時から午後三時まで

国民年金・厚生年金・船員年金などの公的年金で、障害・遺族・老齢等給付を含め、知りたいことがあります。ぜひ、お問い合わせください。相談に对应していただくのは年金相談専門員です。お気軽にお越しください。

場所 黒潮町総合センター

一階 第一研修室

(黒潮町役場佐賀庁舎前)

○お問い合わせ

佐賀総合支所

町民課窓口係

☎ 55-3111 (直通)



みんなでさえる 国保・老保会計

vol.1

4月1日から健康保険法等の規定に基づいて

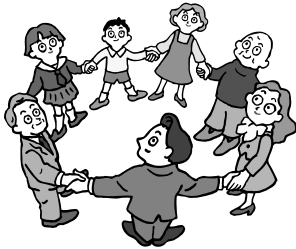
入院時の食事についての負担方法が変わりました。

4月1日から入院時の食事の負担が、1日単位から、1食単位に変更されました。

	変更前	変更後
① 一般の方	1日につき780円	1食につき260円
② 市町村民税非課税の世帯に属する方（③以外の方） （過去1年間の入院日数が90日を超えている場合）	1日につき650円 （500円）	1食につき210円 （160円）
③ ②のうち、所得が一定の基準に満たない70歳以上の方	1日につき300円	1食につき100円

※上記の②および③に該当する方は、加入している医療保険の保険者（老人保健は居住地の市町村）の発行する減額認定証を、被保険者証などに添えて医療機関の窓口へ提出することにより、減額が受けられます。

※医療機関で提供される食事の内容が変わるものではなく、食事の負担額について、食数にかかわらず1日単位で計算していたものを1食単位の計算に変更するものです。



このまちでキラキラ輝く 健康家族

○お問い合わせ

大方総合支所 住民課国保係

☎43-2800（直通）

佐賀総合支所 町民課保険福祉係

☎55-3112（直通）

4月23日（日）は黒潮町長選挙投票日です。

投票時間は午前7時から午後6時まで（一部午前7時から午後4時まで）

○選挙権を有する方

- ・ 昭和61年4月24日までに生まれた方
- ・ 平成18年1月17日までに転入した方

で引き続き黒潮町に住所を有する方

※4月10日以後に黒潮町内において転居された方は移転前の住所地の投票所で投票をおこなってください。

※投票日までには町外に転出された方は投票できません。

○期日前投票

仕事や用事などで、4月23日（日）の投票日当日に投票できない方は期日前投票ができます。

・ 期日前投票所

黒潮町保健福祉センター（黒潮町役場大方庁舎前）

黒潮町役場佐賀庁舎

・ 期日前投票の投票時間

午前8時30分から午後8時まで

・ 期日前投票期間

4月19日（水）から4月22日（土）まで

○お問い合わせ

黒潮町選挙管理委員会 ☎43-2825（直通）





介護保険ガイド

● 介護保険広報シリーズ① ●

新しい介護保険証について

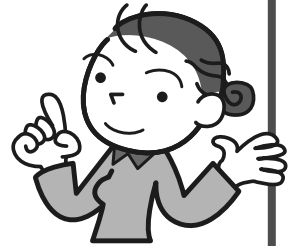
みなさんこんにちは、介護保険係です。これから、介護保険の使い方や制度のお知らせなどを、このコーナーで紹介していきますので、よろしくお願いします。



◆ 新しい介護保険証をご確認ください

65歳以上の方、40歳～64歳の要介護認定を受けている方に、黒潮町の介護保険証をお送りしています。内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

介護保険サービスを利用している方は、ケアマネジャーやサービス事業者、施設の方に、新しい保険証をお見せください。



※その他の認定証など（負担限度額認定証、社会福祉法人等利用者負担軽減確認証など）も新しくなっていますので、ケアマネジャーや、サービス事業者、施設の方にお見せください。

要介護認定を申請している方へ

現在、要介護認定を申請している方の保険証は、認定結果と合わせてお送りします。認定結果が出るまでお待ちください。

◆ 新予防給付と経過的要介護について

《黒潮町の「新予防給付」は平成19年度から》

平成18年4月から「新予防給付」がスタートします。実施には2年間の経過措置があり、黒潮町では平成19年度から行う予定です。

「新予防給付」では、「要支援1」、「要支援2」の認定を受けた方を対象に、生活機能の改善に向けた介護予防サービスを行います。黒潮町の方は、平成19年度から利用できます。

《「要支援」は平成18年4月から「経過的要介護」に変わりました》

平成17年度中に「要支援」と認定されている方は、法改正により、平成18年4月からは「経過的要介護」となりました。

利用できるサービスはこれまでと同じ、グループホーム以外の在宅サービスです。1ヶ月に利用できる在宅サービスの支給限度額は、61,500円（利用者負担はこの1割）で、こちらもこれまでと同じです。

平成17年度	平成18年度
要支援	経過的要介護
要介護1	要介護1
要介護2	要介護2
要介護3	要介護3
要介護4	要介護4
要介護5	要介護5

○お問い合わせ

大方総合支所 健康福祉課 介護保険係 ☎43-2116（直通）

佐賀総合支所 町民課 介護保険担当 ☎55-3112（直通）

教育委員会便り

新年度のスタートにあたって
二〇〇六年度教育行政方針

●基本的な考え方

郷土に誇りを持ち心豊かで
たくましく生きる人づくり

現在日本の社会は、人々の価値観の多様化、少子高齢化、産業構造の変化など、誰もが経験したことのない、行き先が予測しにくい時代を迎えています。

今後、我が国が活力ある社会としてさらに発展していくためには、時代の変化に柔軟に対応できる創造性と、感性豊かでたくましく生きる力を持った人づくりが求められています。

このためには、「子どもたちが主人公」とする『土佐の教育改革』を着実に推進し、基礎的な学力を身につけることはもとより、学校・家庭・地域の三者が一体となって、自ら学び考え、主体的に判断し行動できる力や、自らを律し他人とも協調できる姿勢を身につけさせ、そして優しさや思いやりの心、美しいものや自然に感動する感性など、豊かな人間性を培う教育環境の

充実が重要な課題だと考えています。

そしてこれらの諸施策の実施にあたりましては、各学校はもとより関係機関、教育関係者、町民の皆さんのご理解とご協力をいただきながら、着実に取り組んでいかなければならないと考えております。

●重点目標

- 子どもたちの基礎学力の定着と学力の向上
- 保・小・中連携および地域との連携教育の推進
- 生涯学習の充実

●具体的施策

①学校教育の充実・向上

○子どもたちを学校の主人公として捉え、ゆとりある教育活動を展開する中で基礎・基本の定着と学力向上を重視し、よりよい社会を創造していく人材の育成

- わかる楽しさ、教える喜びのある授業を通じた、基礎学力の確実な定着と学力の向上（国・県の支援事業へ

の積極的な取り組み）

- 十五年間の教育を見据えた、保・小・中の教育内容の連携と充実
- 教職員の資質・指導力の向上と指導方法の工夫改善
- 豊かな心を育む道徳教育の充実

○開かれた学校づくりや、みんなで考え、参画する地域ぐるみ教育の推進

- 子どもや地域の実態に応じた特色ある学校づくりの推進（創造性豊かな教育活動の展開）
- 教科、道徳、「総合的な学習の時間」などの活用による学校・家庭・地域社会一体となった連携教育の推進
- いじめや不登校の児童・生徒に対する教職員、スクールカウンセラーによるきめ細やかな対応と地域やPTA・青少年補導育成センター等との連携を密にした生徒指導の充実

○幼児期から芸術・文化・スポーツに親しむとともに、生活体験や自然体験、ボランティアなどの社会体験活動を通じて生きる力や豊かな人間性の育成

- 外国語指導助手（ALT）を有効に活用し、国際感覚やコミュニケーション能力

の育成をめざした国際理解教育の推進

- 自然環境を大切にすることやよりよい環境を創造するための実践的な態度・能力を育成する環境教育の推進

○情報機器の基本操作を含む情報活用能力など、高度情報化社会に対応できる情報教育の推進

②障害児教育の推進

○適正な就学指導と障害の種類や程度に応じた教育を推進するとともに、障害のある子どもの一生涯を見通した教育の充実

- 障害のある子どもや障害児教育に対する理解を深めるために、障害のない子どもや地域の人々との交流活動の推進

③人権教育の総合推進による意識の高揚

○あらゆる差別をなくすための人権教育の充実を図り、基本的人権を尊重し、積極的にその解決に向け行動できる人づくりの推進

- 児童生徒の進路を保障するための、就学前・小・中・高等学校や学校・家庭・地域社会の連携を密にした地域ぐるみの取り組みの推進

④生涯学習の推進

○町民ニーズに応える学習機会の充実、ボランティア活動の推進を図るとともに、生涯学習の社会づくりを推進

- 家庭の教育力の一層の向上と、PTAや町内の社会教育関係団体、関係機関との連携強化による校外活動の充実・地域ぐるみでの青少年の健全育成
- 学校、家庭、地域の連携に基づいた教育相談活動の充実

○大方あかつき館：「いつでもどこでも・だれでも」必要ときに気軽に学習できる生涯学習の拠点としての活用と促進

⑤体育・スポーツの推進と健康教育の充実

○自らの健康を養うことのできる教育と、心身共に調和のとれた発達を図るための体育・スポーツの振興

- 個々のライフスタイルにあった多様なスポーツ活動を通じて、健康や体力、豊かな

な心を培うとともに、楽しみや生きがいを見いだす生涯スポーツの推進

⑥文化の振興

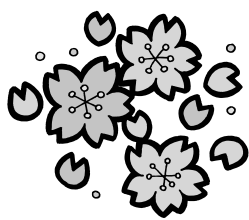
- 上林暁文学館：私小説家「上林暁」の業績を再確認し、文学への親しみと認識を深め、地域の教育と文化の向上
- 町立図書館：常に新しい情報、資料を収集整備し、創意と魅力あふれる生涯学習の場としての図書館づくりの推進

⑦文化財の保護と活用

- 文化財および埋蔵文化財を次世代に継承するための調査と適切な保護の推進
- 文化財および埋蔵文化財の公開・活用を通じ、文化財保護意識の醸成、豊かで誇りをもてる地域づくりの推進

お知らせ

大方地域の教育委員会は、大方庁舎裏へ移動しました。



(平成18年3月10日現在)

学校名	住所	児童・生徒数	電話番号
黒潮町立拳ノ川小学校	黒潮町拳ノ川243	38名	55-7355
黒潮町立伊与喜小学校	黒潮町伊与喜78	25名	55-2069
黒潮町立佐賀小学校	黒潮町佐賀960	145名	55-2032
黒潮町立伊田小学校	黒潮町伊田565	24名	44-1129
黒潮町立上川口小学校	黒潮町上川口569	42名	44-1127
黒潮町立南郷小学校	黒潮町浮鞭717	61名	43-1124
黒潮町立田ノ口小学校	黒潮町下田の口1925	74名	43-1119
黒潮町立入野小学校	黒潮町入野5556	196名	43-1016
黒潮町立三浦小学校	黒潮町出口2480	50名	43-1114
黒潮町立佐賀中学校	黒潮町佐賀600	102名	55-2027
黒潮町立大方中学校	黒潮町入野5220	255名	43-2222

黒潮町内の学校紹介

合併に伴い、黒潮町内の小中学校は次のとおりとなります。

○お問い合わせ

黒潮町教育委員会

☎ 43-11059 (大方地域)

☎ 55-3190 (佐賀地域)



ひとりで悩まず、
話してみませんか？
教育相談所に来ませんか？

来所はもちろん、電話での相談、家庭訪問による相談も受け付けています。

○相談対応日時

毎週月曜日から金曜日まで

午前九時から午後四時まで

※来所は電話で確認をお願いいたします。

※対応時間については変更もあります。

○相談対応内容

幼児および青少年の家庭生活、学校生活、学習および健康など、住民からの教育・家庭生活などの相談。

○受付

黒潮町入野八四一番地五

浜松教育集会所内教育相談所

☎ 43-3750

※緊急相談は、右記以外の時間も受け付けいたします。

くじらるーむは、こんなところ

教育相談所と同じく、「くじらるーむ」も開所しています。相談室と別に活動(学習)室もあります。静かで、人に邪魔されずに活動ができます。

○目的

学校に行きたくても行けない子どもたちの相談やアドバイスおよび、子どもたちの諸活動を支援します。

○受け入れ

小中学生および保護者

○受け入れ日時(訪問支援も行います)

毎週月曜日から金曜日まで

午前九時から午後四時まで

※祝日、休日、年末年始を除く

※対応時間については変更もあります。



伊田さくら消防クラブ発足



去る二月一日、大方地域の灘、伊田浦、伊田郷の三つの地区の女性たちで組織する消防隊「伊田さくら消防クラブ」が結成されました。

会長である武政ひとみさんによると、「地域住民の防災意識を高め、周囲に広げる取り組みをするためにクラブを作りました。現在のメンバーは十名で、災害時の応急処置をはじめとする救命活動や、訓練の実施、防災意識の啓発活動を目的としています。地域でお世話になりながら生活するものとして、地震災害時だけでなく、『何かあったときに地域の役に立ちたい』というのが私たちの目標であり願いです。」とのこと。



結成を機にユニフォームとして「さくら色」のブルゾンを作成しました。



看護師や介護福祉士などの資格を持つ方も多い「伊田さくら消防クラブ」のメンバーです。



このように、自分たちの地域を自分たちで守ろうという思いから結成されたクラブは、まず最初の活動として、メンバー全員が、三月十二日に、消防署において普通救命講習を受講しました。

今後は各種訓練などを実施しながら活動資機材の充実を目指している、初々しいクラブ員たちです。

第十二回 防火・防災標語決定

『いつかくる
その日のための地域の絆』



町内の小学校四年生から六年生を対象に、防災意識の向上や火災予防の啓発を目的として、消防署が毎年行っている防火・防災標語の募集も昨年度で十二回目となりました。

今回も三百五十二点もの多数の力作が寄せられ、厳正な審査の結果、上川口小学校五年生の島田怜奈さんの作品が、最優秀賞に選ばれました。

この標語は、消防庁舎の壁面に一年間掲示されるとともに、防災関係の広報活動にも活用させていただきます。

田園調布学園大学硬式野球部 大方球場で春季キャンプ



二月七日から十三日まで神奈川県川崎市田園調布学園大学硬式野球部が大方球場で春季キャンプを行いました。

同部は平成十五年に発足し、現在は部員二十五名、神奈川県学野球連盟二部リーグに所属し、昨年の二部リーグ戦で優勝を果たしました。同部が大方球場で春季キャンプを行うのは三回目です。

監督の関根夫氏は「使いやすい、紅白戦なども行っています。また自然が多くて環境がよく、雨が降っても近くに大規模公園の体育館があり練習できる。」と大方球場を評価されていました。

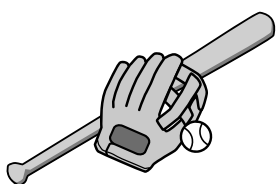


日頃の練習や、このキャンプで蓄えた力を発揮され、今後の大会などのご活躍を期待します。



○大方球場の利用についてのお問い合わせ

大方総合支所 総務課総務係
☎ 43-2112 (直通)



みんなで黒潮テレビ局をつくろう！
自分たちの手作り番組を放送

三月五日、道の駅ビオスおおがたで「みんなで黒潮テレビ局をつくろう！」と題したイベントが行われました。

これは、NPO砂浜美術館が昨年から企画したもので、当日は住民や小学校児童が、特産物や地元紹介など、思い思いに題材を決めたものを取材、撮影、編集して作った番組の放送や、フリーマーケット、ジャズコンサート、この企画に協力していただいた熊本県山江村で村民放送を既に実現化している松本住久さん、岸本晃さん(有プリズム)を交えたパネルディスカッションなど終了まで盛りだくさんの内容でした。

イベント中も、本物の番組撮影しながら、いくつものカメラが会場をまわり、スタッフ関係者も黒潮テレビ局設立の意欲を一段と強めた様子でした。



撮影した番組の説明をする
南郷小学校6年生の児童たち

第8回 大方町観光・おさかな祭り開催

三月十八日、入野漁港で第八回大方町観光・おさかな祭りが開催されました。

今回が大方町として最後となった観光・おさかな祭りは、あいにくの天候にもかかわらず、町内外から多くの方が訪れ、新鮮な魚介類を買い求めていました。

マグロの解体実演および即売会や各商品の販売店テント前はたくさんの人で賑わい、小中学生を対象とした、おさかな名前あてクイズでは初めて見る魚に考えこむ姿が見られました。

また、祭りの最後には餅投げが行われ、盛大に開催することができました。

ご来場の皆さん、イベント・出店をしていただいた関係者の皆さん、本当にありがとうございました。



うなぎのつかみ捕りの様子

緑化推進「コミュニティ助成事業」

かきせ川地域づくり協議会

財団法人自治総合センター(東京)では、宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源として、地区住民のコミュニティ意識の醸成を図るとともに、宝くじの普及広報を行うために、コミュニティへの助成事業を行っています。旧大方町では、馬荷・御坊畑・橘川

地区で組織する「かきせ川地域づくり協議会」(川村渡会長)において、同財団法人から緑化推進コミュニティ助成事業を受け、収穫後の田へのコスモスの種まき、道沿いへのあじさいや公園などへの桜の植栽を行いました。

かきせ川地域づくり協議会では平成十五年度、流域の地域づくり計画を策定し、流域一体となった地域の活性化に取り組んでいます。その中の「里の景観づくり」の一環として今回の助成事業を受けて実施したものです。

川村会長は「今回地域一体となってコスモスの種をまき、昨年十月に地域を楽しむ会を実施したところ、本当に多くの方々に地区に来ていただき交流することができた。花や緑がこれほど人々を集めるとは驚きである。この助成事業をきっかけに、地

区流域のコミュニティの一層の活性化を図りたい。」と抱負を語っています。

地区では今後も地区住民みんなでコスモスの花を継続的に咲かせ、あじさいなどの植栽の手入れや、株を増やして一層の緑化推進をしたいとしています。



宝くじは、広く社会に役立てられています。

宝くじは、広く社会に役立てられています。



お問い合わせ

本庁企画振興課企画振興係

43-4500(直通)

電源立地地域対策交付金事業
佐賀大溝水路改修工事が完了

電源立地地域対策交付金は、公共用施設整備などの、住民福祉の向上に資する事業に対して交付されています。平成十五年度より三ヶ年計画にて施工していましたが、佐賀大溝水路改修工事(全体延長二百一メートル)がこのたび完了いたしました。

当水路は、通水断面が小さくたびたび浸水被害を受けていましたが、今回の改修によりこれからは、地域住民も安心して生活がおくられることと思います。



お問い合わせ

本庁企画振興課企画振興係

43-4500(直通)

黒潮カツオ体験隊が 地場産業奨励賞を受賞

三月十六日、高知市のオリエンタル高知で、第二十回高知県地場産業大賞の表彰式が行われ、カツオのタタキづくり体験を通じた食育・交流事業に取り組み黒潮カツオ体験隊が地場産業奨励賞を受賞しました。

黒潮カツオ体験隊は、佐賀漁業協同組合女性部を中心に結成され、平成十二年からタタキづくり体験受け入れ事業に取り組み、県内外から訪れる観光客や修学旅行生に、カツオの食文化に触れ、黒潮町の魅力を感じる存分味わっていただいています。

事業開始当時は、受け入れの度、港の空き地など屋外へテントを張り、自前の道具を持ち寄って実施していましたが、平成十五年にカツオのタタキづくり体験等交流施設（カツオふれあいセンター黒潮一番館）が完成し、多くの人数の受け入れも可能になりました。

観光客や修学旅行生にとって、普段手に入ることの少ない一本丸ごとのカツオを自分で捌いて

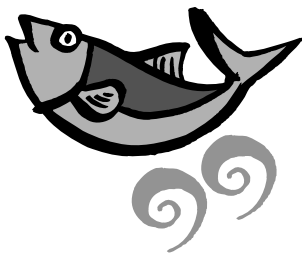
藁で焼き、タタキづくりをする事の新鮮さや、地元の漁師や黒潮カツオ体験隊の人情が評判を呼びリピーターも多く、年々受入数も増加してきました。

「これまで色々と試行錯誤を重ねて頑張ってきました。新しく黒潮町になって、活躍の場をもっと増やしていきたい。」（黒潮カツオ体験隊浜町チカ子さん）と熱意を込めてコメントしてくださいました。

これからも更なるご活躍を期待しています。



黒潮カツオ体験隊
(右から、境文字さん、浜町チカ子さん)



カツオが取り持つ交流の輪！

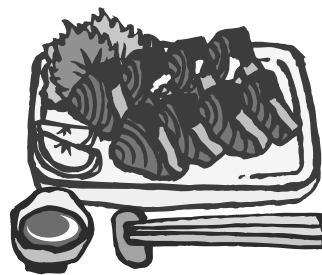
兵庫県西脇市での
カツオのタタキを披露！

去る三月十七日、兵庫県西脇市立あゆみ保育園において、黒潮カツオ体験隊によるタタキづくり体験が行われました。当日はあゆみ保育園の園児の皆さんをはじめ、保護者、中学生、地域の方々約二百名が参加してくれました。集まってくれた参加者は、目の前でみるカツオの大きさや名人の捌き方にびっくり仰天。続いて自分たちが指導者から捌き方を伝授され、タタキの藁焼きを体験。焼きあがったタタキを切って、皿鉢に盛りつけるまでの一連の作業に和気あいあいの雰囲気の中で、楽しそうに取り組んでいました。参加者の皆さんにとっては、スーパ



カツオ捌き名人による体験前のデモンストレーション

ーでしか見たことのないカツオ丸ごと一匹を自分たちの手で調理することの楽しさやそれを食すことの喜びを十分に満喫した一日だったことと思います。この交流を通して、改めて「正しい食育のあり方」「心がつながることの大切さ」を感じることでできました。



「いただきます。」「おいしいね。」あちこちからそんな親子の会話がきこえてきました。

黒潮一番館の紹介！

カツオのタタキづくり体験等交流施設「カツオふれあいセンター黒潮一番館」では、カツオのタタキ体験だけではなく、カツオのタタキ定食、魚のフライ定食（しめじの天ぷら付き！）、うどんや黒潮ラーメンなどのランチメニューやビールも販売しています。

黒潮ラーメンは、黒潮町の特産物「完全天日塩」が使用された、あっさり塩味のラーメンです。時期によっては、休業の場合がありますので、遠方からお越しの際は事前に確認をお願いします。

黒潮一番館

☎ 55-3680
午前10時～午後3時
カツオのタタキづくり体験
期間 3月～11月（要予約）
受入人数 1名～200名まで
料金 お一人様 3,150円～4,000円
（地元産の新鮮な食材を使用した食事付き）
所要時間 約2時間



できあがったTシャツは一つ一つチェックして仕分けされます。

五月一日(月)から六日(土)にかけて、大方入野の浜でTシャツアート展が開催されます。

応募受付を三月十七日に終了し、今年もたくさん個性溢れる作品が集まったNPO 砂浜美術館事務局では、できあがったTシャツの仕分けが行われていました。

四月下旬から、杭打ちやTシャツ張りなどの準備が行われます。

第18回 Tシャツアート展

— 特定非営利活動法人NPO 砂浜美術館主催 —



T-SHIRT ART EXHIBITION ～ひらひらします～

「私たちの町には美術館がありません。美しい砂浜が美術館です。」

青い海と空のなか、自分の作品がひらひらとそよぐ姿を見て楽しむもよし、たくさん作品の中からお気に入りを探し出すのも、このTシャツアート展の醍醐味です。



特定非営利活動法人NPO 砂浜美術館を紹介しします

特定非営利活動法人NPO 砂浜美術館は、道の駅ビオス おおがた情報館に事務局を置き、ホエールウオッチングの受付や土佐西南大規模公園の公園管理なども行っています。

入野の浜を拠点に、周りの自然やあるものを活かした企画作りがとても魅力的で「潮風のキルト展」「漂流物展」「らつきょうの花見」など、私たちの町は年間を通じてイベントが満載です。

スタッフは計八名、イベントによつては町内外からのボランティアスタッフが募集しており、たくさんの方の協力のもとで活動が進められています。

NPO 砂浜美術館

〒789-1911
高知県幡多郡黒潮町
浮鞭3573-5
TEL43-4915
FAX43-1527
http://sunabi.com/
e-mail
nitari@sky.quolia.com

〜黒潮町の空を泳ぎます〜
こいのぼり・カツオのぼり

今年も、佐賀(坂折)の伊与木川河岸で、約百三十匹のこいのぼり・カツオのぼりの川渡しを行います。

冬にはイルミネーションで心和ませるこの場所は、列車や国道沿いから佐賀を通過する際に見える事もあり、毎年町内外たくさんの方に楽しんでいただいているこいのぼりとカツオのぼりです。

河岸沿いに連なって植栽された桜も少しずつですが、大きく成長し、綺麗に花を咲かせています。

天気の良い日にお弁当を持って、気持ちの良い風を受けながら泳ぐこいのぼりとカツオのぼりを眺めてのんびりするのいいですよ。



〈場所〉佐賀(坂折) 伊与木川の上
〈期間〉川渡し 4月15日予定
5月10日頃まで

健康カレンダー

健康で元氣なからだを目指しましょう！

大方地域

健康に関する行事予定を大方地域・佐賀地域に分けて表示しております。
 行事予定は変更となる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

4月 日/曜日	事業名	実施場所・実施時間
17日(月)	胸部レントゲン検診	米原集会所 9:00～ 9:15
		有井川 川の内 9:30～ 9:35
		有井川集会所 9:50～10:50
灘集会所 11:00～11:20		
	愛育相談	大方くじら保育園 9:30～11:00
	健康相談	上川口浦集会所 13:00～14:30
20日(木)	基本健診	加持ふれあいセンター 9:30～10:30
		旧東部保育園 (浮津地区対象) 13:30～14:30
20日(木)	胸部レントゲン検診	加持ふれあいセンター 9:00～10:20
		北郷小学校前 10:40～11:10
		大井川バス終点広場 11:20～11:30
		浮津集会所 13:00～14:00
		鞭老人憩いの家 14:10～15:40
21日(金)	胸部レントゲン検診	錦野集会所 9:00～ 9:50
		芝・中央保育園前 10:00～11:30
		保健福祉センター 13:00～15:00
	健康相談	鞭集会所 9:30～10:30
	愛育相談	保健福祉センター (西部地区対象) 10:00～11:30
24日(月)	愛育相談	浜松保育園 9:30～11:00
25日(火)	子宮がん検診	鞭老人憩いの家 9:30～10:30
		蜷川健康支援センター 13:30～14:00
		有井川集会所 15:00～16:00
JA高知はた南部出張所 9:30～10:30		
26日(水)		加持ふれあいセンター 13:30～14:00
		上川口分団屯所前 15:00～16:00

5月 日/曜日	事業名	実施場所・実施時間
8日(月)	健康相談	上川口郷集落センター 9:30～10:30
		御坊畑集会所 13:30～14:30
9日(火)	基本健診	田野浦集会所 9:30～10:30
		田野浦集会所 13:30～14:30
9日(火)	胸部レントゲン検診	田野浦集会所 9:00～11:30
		出口・旧三浦小学校跡県道脇 13:20～14:30
11日(木)	愛育相談	保健福祉センター (中部西部地区対象) 10:00～11:30
12日(金)	胸部レントゲン検診	蜷川健康支援センター 9:00～ 9:50
		上川口分団屯所前 10:05～11:35
		伴太郎集会所 13:00～13:10
		蜷川健康支援センター 13:35～14:10
	伊田漁民センター 14:30～15:50	
	健康相談	浮津集会所 9:30～10:30
		錦野集会所 10:00～11:00
15日(月)	乳児健診	保健福祉センター 13:00～13:30

お問い合わせ

大方地域 大方総合支所 健康福祉課保健衛生係
 佐賀地域 佐賀総合支所 健康対策課保健係

☎ 43-2836 (直通)
 ☎ 55-7373 (直通)

4月 日/曜日	事業名	実施場所・実施時間
17日(月)	横浜愛育健康相談	佐賀老人憩いの家 9:30～11:00
25日(火)	上分ミニディサービス	上分集会所 9:30～11:00

5月 日/曜日	事業名	実施場所・実施時間
8日(月)	乳児・1歳6ヶ月健診	デイサービスセンターこぶし 13:00～(佐賀全校区対象)
9日(火)	伊与喜ミニディサービス	伊与喜集会所 9:30～11:00
10日(水)	漁民センターミニディサービス	漁民センター 9:30～12:00
15日(月)	横浜愛育健康相談	佐賀老人憩いの家 9:30～11:00
17日(水)	馬地ミニディサービス	馬地集会所 9:30～11:00
	ポ リ オ	総合保健センター 11:30～(拳ノ川・伊與喜・鈴校区) 総合センター 14:00～(佐賀校区)
18日(木)	鈴ミニディサービス	鈴漁民センター 10:00～15:00
23日(火)	総合健診(拳ノ川校区)	デイサービスセンターこぶし
24日(水)		
25日(木)	総合健診(鈴校区)	鈴漁民センター
26日(金)	総合健診(伊与喜校区)	林業総合センター

これからの季節はO-157にご注意を!

食中毒は夏にだけ起こるものだと思いませんか? 暖かく過ごしやすい季節となってきましたが、逆にO-157の発生率はこれから高くなっていく危険性があります!!



【O-157って何?】

通常は身体に害を与えることのない大腸菌の中には、病気を引き起こす性質を持つ病原性大腸菌があり、その中でも病原性大腸菌O-157は「ベロ毒素」という猛毒を作り出し、感染力と毒性が強く、激しい出血性の下痢や発熱・嘔吐などの症状を伴うこともあります。

この「ベロ毒素」は、蛋白質の合成を妨げ、大腸粘膜の細胞を壊し、溶血性尿毒症症候群という病気を引き起こす場合もあり、中にはひどい貧血や腎臓・脳に重い障害を生じさせたりすることもあるのです。

また、潜伏期が長い原因が特定し難く、汚染された食品が流通してしまったり、二次感染(調理器具や水などを介して菌が食物に移ること)で感染が広まる可能性があります。

こんな症状には要注意!

- 1) はじめは「だるい」「元気がない」といった風邪に似た症状
- 2) 感染後4～9日でへそから下腹部にかけての激しい腹痛と下痢
- 3) 水溶性の下痢から1～2日後に出血性の下痢
- 4) 発熱や嘔吐

感染を予防するために

○食品の保存、運搬、調理

- 食材はよく洗い、肉などは十分に加熱を!(75℃以上で1分間加熱すれば菌は死滅します。冷凍された食品は特に注意しましょう。)
- なまものは早めに調理し、できれば野菜などと同じまな板を使わないこと。
- 冷蔵庫や冷凍庫を過信しないようにしましょう。

○食品を扱う際

- 帰宅時、調理前、料理中、食事前、用便後などには十分な手洗いを!(調理中に肉や魚、髪などに触れた時もしっかり手を洗いましょう。)
- 食材ごとに調理用具(まな板、包丁、ふきん、菜箸など)をよく洗い、たわしやスポンジも清潔に!
- なまものを扱ったまな板は熱湯などでこまめに消毒しましょう。

- 飲料水の衛生管理に気を付けましょう。(井戸水などの生水は沸かしてから)

粗大ごみの収集について

粗大ごみとして収集するものは、主に家庭の日常生活から出る・家具・家電製品（リサイクル家電を除く）・台所用品・自転車など町指定ごみ袋に入らない大きさで二メートル以下のもので、二人でかかえられる程度のものであります。

また、粗大ごみ一個につき一枚の「黒潮町粗大ごみ指定証票」を貼って出してください。

くわしい収集品目、収集日については、全戸配布する「黒潮町のごみの分け方・出し方」・平成十八年度一般ごみの収集計画表」をご覧ください。

◆収集する粗大ごみ

●家電製品類

扇風機、掃除機、電子レンジ、コタツなど

●家具類

机、イス、たんす、ベッド、たたみ、ふとん（しばって出す）など

●その他

自転車、ガスコンロ、ストーブなど

※注意事項

●分解出来るものは分解して、ひもでしっかりとしばって整理してください。

●ストープなどタンクの中に油類や水、電池などが入っているものは、全部ぬいて出してください。

●粗大ごみの日と、家庭ごみの日がいっしょになっていないところは、混ざらないように出してください。

◆収集しない粗大ごみ

●リサイクル品

テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、エアコン、洗濯機、パソコン、自動車

●産業廃棄物

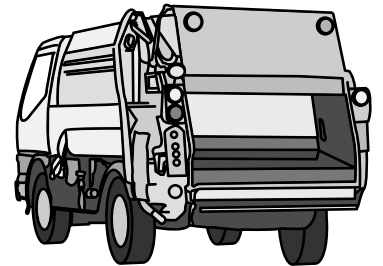
瓦、ブロックなど建築用資材、タイヤ、タイヤホイール、バッテリー、車の座席など

●機械・器具類

ドラム缶、農機具、漁具、電動機、トランス、エンジン、バイク、コンプレッサー、大

工道具、金属工具、ピアノ、ボート、精米機、毛糸編み機、電動マッサー、大型コピー機、足踏みミシン、温水器

（ボイラー本体および丸型タンク）、直径十二ミリ以上の金属、棒、厚さ四ミリ以上の鋼板・鉄、布、ロープ類、積層された金属板、消火器



●危険物

ガスボンベ、ガソリン、シンナー、灯油などの入った容器、農薬、塗料溶剤、化学薬品、酸・アルカリ性液体など

●大型粗大ごみ

二メートル以上のもの

収集しないものについては、各自で販売店や解体業者などにお問い合わせのうえ処分をお願いします。

○お問い合わせ

大方総合支所

住民課環境保全係

☎43-2800（直通）

佐賀総合支所

建設課水道環境係

☎55-3700（直通）

●自動車税の納付について

自動車税の納期は五月三十一日までです。納期限までに必ず納めてください。

なお、グリーン税制のため一部の自動車は税額が高くなります。

また、四月一日現在で車検切れの自動車には、納税通知書は送付いたしません。

身体に障害のある方などの自動車税の減免申請は、五月三十一日までとなっております。お早めにお越しください。

領収書の右側の納税証明書は車検の際に必要ですので、車検証とともに大切に保管してください。

○お問い合わせ

高知県幡多県税事務所

☎35-5972

●交通事故で困ったときは

近年の交通事故は複雑化する傾向にあり、解決が難しくなっています。

自動車保険請求相談センターでは、自動車保険（自賠責保険および任意自動車保険）の請求について、専門の相談員が無料で相談に応じています。

また第一金曜日の午後一時から午後四時までは無料の弁護士相談も行っていきます。（弁護士相談は予約制・要面談）

保険の請求でお困りの際には、ぜひご利用ください。

○お問い合わせ

高知自動車保険請求相談センター

☎088-825-0318

自衛隊幹部候補生募集

— 実現! 幹部への道 —

○受付締切/平成18年5月12日（金）

○応募資格/日本国籍を有し、平成19年4月1日現在、22歳以上26歳未満（22歳未満は大卒者〔見込み含む〕）大学院修士課程修了者（見込み）は28歳未満

○試験日/第1次試験：平成18年5月20（土）・21日（日）（21日は飛行要員のみ）

○試験会場/高知市内

○給与等/初任給213,300円（1年後241,200円）昇給年1回 賞与4.4ヶ月


○お問い合わせ/〒787-0033 四万十市中村大橋通6-3-7 自衛隊四万十募集事務所 ☎35-3096

家電のリサイクルとパソコンのリサイクルについて

家電リサイクルの方法

リサイクル商品	グループ	自分で引取場所に持っていく	リサイクル料金 (リサイクル券は郵便局で)	小売店に引取りを依頼
テレビ 冷蔵庫 冷凍庫 洗濯機 エアコン	松下電器、東芝グループ、日本ビクター、ダイキン工業、LG電子ジャパン、コロナ、日本サムスン	国虎商店 四万十市古津賀3045(雅ヶ丘団地の近く、県西部廃品回収事業協同組合) ☎ 34-1731	テレビ 2,700円 冷蔵庫 4,600円 冷凍庫 4,600円 エアコン 3,500円 洗濯機 2,400円	左記リサイクル料金の収集運搬料金が加算されます(収集運搬料金については、取引を依頼する小売店にお問い合わせください。)
	日立製作所、三菱電機、三洋電機、シャープ、ソニー、富士通ゼネラル、アイワ、パイオニア、船井電機など指定法人ルート(NEC, その他)	日本通運(株)中村営業所ペリカン便 四万十市具同7221-3(具同工業団地奥詰) ☎ 37-4502		

家庭での使用済みパソコンのリサイクル方法

パソコンの種類	リサイクル方法	改修再資源化料金	回収するメーカーの問い合わせ方法
PCリサイクルマークがついた製品 	メーカーに回収申し込みをすると、メーカーより振込用紙かエコ郵パック伝票の送付があります。振込用紙が送付されてきた場合はお金を振り込めばエコ郵パック伝票が送付されてきます。エコ郵パック伝票が送付されてきたら、パソコンを簡易包装し、伝票を貼り付けて、戸口集配かお客様持ち込みで再資源化センターに郵送してください。	不要	パソコンを買った小売店に問い合わせる。メーカーのホームページにアクセスして探す。
PCリサイクルマークがついていない製品		必要金額は機種により異なります(メーカーから送られてきた振込用紙で支払い)	
メーカーが倒産・自分で組み立てた・輸入販売会社の製品	パソコン3R推進センターに回収申し込みをします。センターより振込用紙の送付があります。リサイクル料金を振り込むと、エコ郵パック伝票が郵送されてきます。パソコンを簡易包装し、エコ郵パック伝票を貼り付けて、戸口集配かお客様持ち込みで再資源化センターに郵送してください。	必要金額は機種により異なります。(パソコン3R推進センターから送られてきた振込用紙で支払い)	パソコン3R推進センター TEL 03-5282-7685 http://www.pc3r.jp

○お問い合わせ

大方総合支所住民課環境保全係 ☎43-2800 (直通)

佐賀総合支所建設課水道環境係 ☎55-3700 (直通)

たったひとりの卒業式

馬荷小学校 卒業生を送り休校に

三月二十四日、黒潮町の各地域で小学校卒業式が行われました。

今年三月で休校となる馬荷小学校では、馬荷小学校の児童として最後の卒業生を送ることとなりました。

最後の卒業生となった矢野亜寿美さんが、四月から田ノ口小学校へバス通学となる七名の下級生一人ひとりに励ましの言葉を送り、最後に「私は、最後の馬荷小学校の卒業生でよかったです。」と感謝の込められたお別れの言葉を告げました。



りっぱなソメイヨシノが満開でした。



馬荷冷泉：成分は硫黄

馬荷で見つけました

来賓の中には、保護者や学校関係者以外にも、この学校で小学校教育を過ごした地域の方々や卒業生がお祝いに駆けつけ、たったひとりの卒業式でも、たくさんの方にお祝いされ、新しい中学生活への心強い第一歩となったことでしょう。

水道給水工事指定店当番一覽表

月	日		当番店（大方地域）		当番店（佐賀地域）	
	自	至				
4	10~16		小松メンテナンス	中村住設大方営業所	(有) 弘瀬建設	谷口水道
	17~23		タカハシ水道	前田電工	山本建設(株)	西部緑化建設(株)
	24~30		平野住設	吉本水道	(株) 土居建設	拳ノ川住設
5	1~3		大方設備センター	道倉水道	(有) 弘瀬建設	谷口水道
	4		小松メンテナンス	中村住設大方営業所	山本建設(株)	西部緑化建設(株)
	5		タカハシ水道	前田電工	(株) 土居建設	拳ノ川住設
	6		平野住設	吉本水道	(有) 弘瀬建設	谷口水道
	7		大方設備センター	道倉水道	山本建設(株)	西部緑化建設(株)
	8~14		小松メンテナンス	中村住設大方営業所	(株) 土居建設	拳ノ川住設
	15~21		タカハシ水道	前田電工	(有) 弘瀬建設	谷口水道
	22~28		平野住設	吉本水道	山本建設(株)	西部緑化建設(株)
29~31		大方設備センター	道倉水道	(株) 土居建設	拳ノ川住設	

当番店の連絡先・所在地 ※当番日以外でも要請があった場合には対応いたします。

大方地域				佐賀地域			
店名	電話番号		住所	店名	電話番号		住所
	事務所	自宅			事務所	自宅	
大方設備センター	43-1420	31-3603	入野769	拳ノ川住設	55-7371	55-7114	拳ノ川1781
小松メンテナンス	43-4522		入野5196-70	西部緑化建設(株)	55-2435		熊井245
タカハシ水道設備	43-1936		上田の口1578	谷口水道		55-2316	佐賀2773
(株)中村住設大方営業所	43-0211	43-2061	出口372-2	(株) 土居建設	55-2133	55-3388	伊與喜43-5
平野住設	44-1513	44-1117	伊田2100	(有) 弘瀬建設	55-2121		佐賀1990
前田電工	43-1149	43-1546	入野1574	山本建設(株)	55-3141	55-2382	佐賀2988
道倉水道工務店	43-2096		浮鞭3558-8				
吉本水道工務店	43-2024		入野544-4				

○お問い合わせ
 大方総合支所 健康福祉課水道係 ☎43-2114 (直通)
 佐賀総合支所 建設課水道環境係 ☎55-3700 (直通)